Award Speech for JSSX Award for Distinguished Services, 2010

# 学会の円滑な運営に資する 事務体制の確立

Improvement of Secretarial Function for Smooth and Efficient Management and Operation of JSSX

The Former Secretary General of JSSX Minezo OTSUKA, Ph.D.

## なぜ事務局長になったのか

- 理事の2期目の平成13年に、会員数約 2,000名の学会に相応しい事務局体制を構築すべく事務局の改革に参画 (渡邊会長時代)
- 平成14年、鎌滝会長の要請により、初代事務局長に就任
- 8年3ヶ月、事務局長、事務局顧問

事務局長: 3期6年: 鎌滝、辻、杉山会長時代

事務局顧問: 1期2年3ヶ月; 山添、乾会長時代

### 学会&事務局の果たすべき役割は

- 学会:学会活動を通して、会員の公益、得られた 成果の会員への還元を図ること
  - (企業理念、事務局長の行動規範)
- 学会事務局の果たすべき役割は
  - 1)会員情報の管理と会員への適切な対応
  - 2)年会費等の適切な会計処理
  - 3)理事会への支援
  - 4) 学会誌発行への支援
  - 5)年会、WS、VS等開催への支援

当たり前なことを、着実に実行!!

#### 主な業績は何か

- 旧学会事務局(自前)の改革、財団法人日本学会 事務センター(学会事務センター)への事務移管
- 事務局長就任と学会運営基盤の整備
- 事務委託先の学会事務センター破産への対応
- 新事務委託先の調査・選択と財団法人国際医学情報センター(IMIC)の事務委託
- IMICでの学会事務の円滑な運営のための事務 体制の整備

#### 事務局長として最初にやったことは

- 学会一般会計及びワークショップ(WS)会計 の管理体制の改革
  - ⇒ 学会事務センター破産時に損害を最小限に 抑えることに効果を発揮
- WSの決算報告書の監事による監査と理事 会での承認

- 学会ホームページのリニューアル (3年後に見直し:成松理事を中心に改革)
- ⇒ 学会事務センター破産時に効果を最大限に発揮

#### 学会事務センター破産への対応

- ▼ 平成16年8月、事務委託先の財団法人の学会事務センターが破産
- ▼ 原因:関連会社・社長の着服、本体の放漫経営による財務状況の悪化、各学会からの預かり金の流用 負債総額30億円余
- 学会としての対応:関連会社の不祥事について、理事会で常務理事に説明を求める。新聞報道後、学会保有の通帳と印鑑を即時引き上げ、しかしながら、財団が各学会(約300)の預かり金を分けずに一括管理(プール管理)していたため、年会費等の残余金については、完全には差し押さえられず

#### 事務センター破産への対応 (続く)

- ▼ 破産後、財団のすべての財産は破産管財人の管理、調査
- 東京地裁で開催された債権者集会に、当時の池田 監事と毎回参加し、情報収集
- ▼ 債権の優先順位: 一位、公租; 二位、社員の給 与・退職金; 三位、債権者(約300の学会)
- 学会が被った損失額は、一般会計で約60万円、 WSの残余金約170万円、計230万円

#### 新事務委託先の調査と決定

- ▼ 会員数約2,000名での学会の会計収支規 模では、自前の事務局を持つことは不可能
- 少ない情報を頼りの事務委託先の机上調査と実地調査(8機関)
- その中から、4機関を選び、辻会長と各機関 の担当者に面接調査
- 財団法人国際医学情報センター(IMIC)に決め、理事会で承認

## IMICでの学会事務の円滑な運営と 事務体制の整備

常務理事、担当部長、担当事務員を東大に 招集し、辻会長、杉山副会長とともに円滑な運営に向けた改善策を協議

● その結果、新たに、動態学会の担当になった 方が、西澤展美氏

## 学会事務の円滑な運営と 事務体制の整備(続く)

- 学会として要望する重要課題二つ
  - ★ 確実な会員情報の管理と対応
  - ★ 会費及び学術雑誌の出版などに係る 会計管理
    - 月例報告を依頼
- その他の細かな要望について、月2度のペースで 意見交換

(西澤氏との5年間に渡る交信記録、厚さ約10cm)

2年目からほぼ円滑な運営!!

## 事務局体制の一元化

- 分散処理されていた「学会誌DMPKの投稿 原稿の処理事務」、「サイメッドでの編集作業」、 「ワークショップ開催に係る事務」を、全てIMIC に移管し、事務一元管理による効率化と責任 体制を明確にすることを画し、実現
- 事務体制の一元化には危険もあり、それらの対応として、それぞれの業務についての契約は個別にするとともに、契約期間をいずれも一年に



PSWC2004, 京都





#### Joint ISSX/JSSX Meeting

MAUI, HAWAII OCTOBER 23-27, 2005

Organizing Committee
Co-Chairs: T Kamataki and J W Gorrod

Fred Guengerich
Eric Johnson
Charleen McQueen
Deborah Nicholl-Griffith
Cossette Serabjit-Singh
Gary Yost
Patrick Murphy

Kan Chiba Ken-ichi Inui Toshihiko Ikeda Akira Tsuji Yashushi Yamazoe Yoshinobu Yoshimura Yuichi Sugiyama

And
Nancy Holahan , the ISSX administrative staff
and Minezo Otsuka





## 謝辞

- 以上の業績は、大塚個人がなしたものではなく、仕 えた歴代会長の学会活動活性化への強い想いの具 現化の一助の結果であり、歴代の会長、理事、監事、 および事務局の西澤氏の多大なご支援、共同作業に よるものである。
- 特に、西澤氏は、こちらの要望を十二分に理解し、 一つ一つ確実に実行に移された。大塚の業績の大半 は西澤氏に依存するといっても過言でないし、この賞 の喜びを二人で分かち合いたい。
- 最後に、本学会の理事に推薦して頂いた加藤隆一 先生、事務局長としての道に引導を渡された鎌滝哲 也先生に、また仕えた歴代の会長、役員に深謝いた します。

Jpn. Robin

ご清聴ありがとうございました。

Again, I have to apologize to those who are not Japanese speakers that I made this presentation in Japanese.